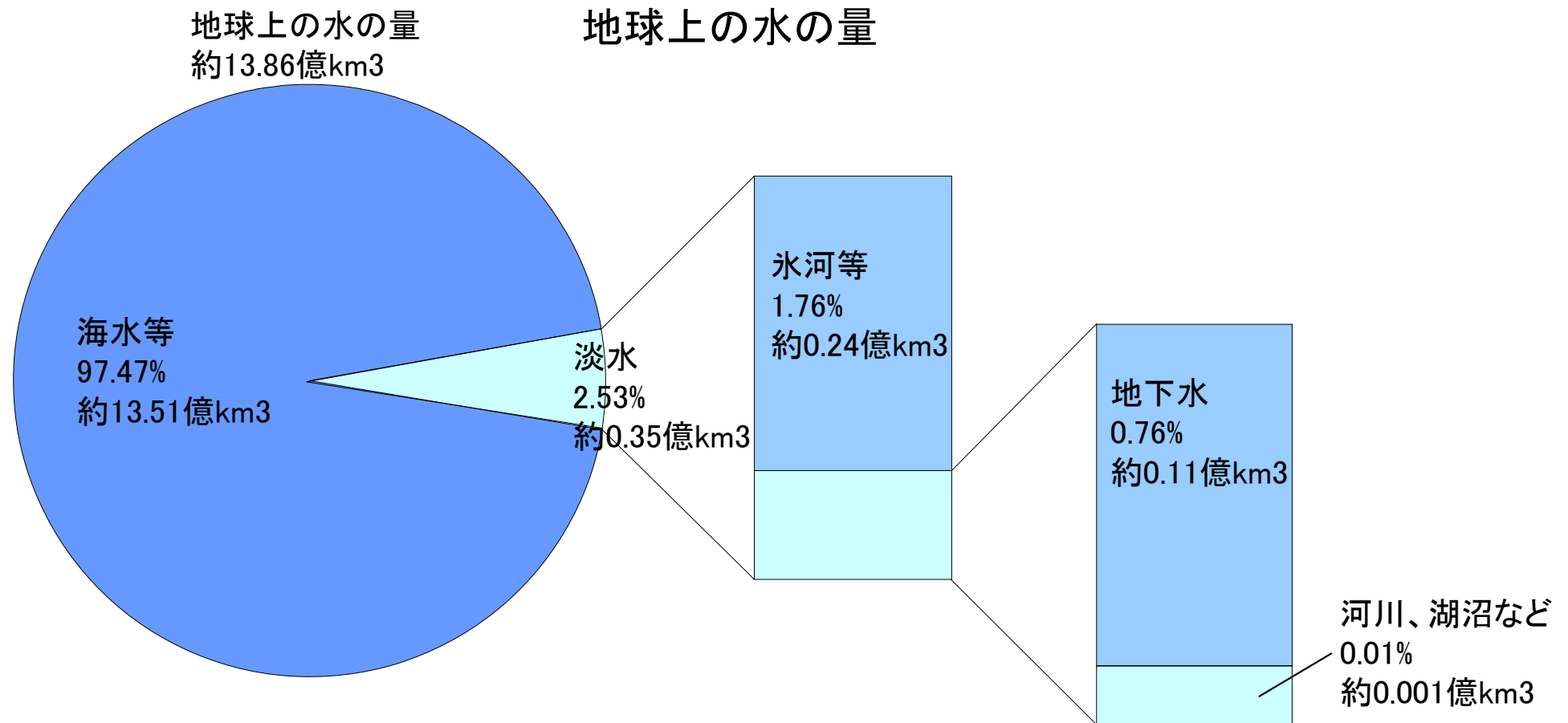
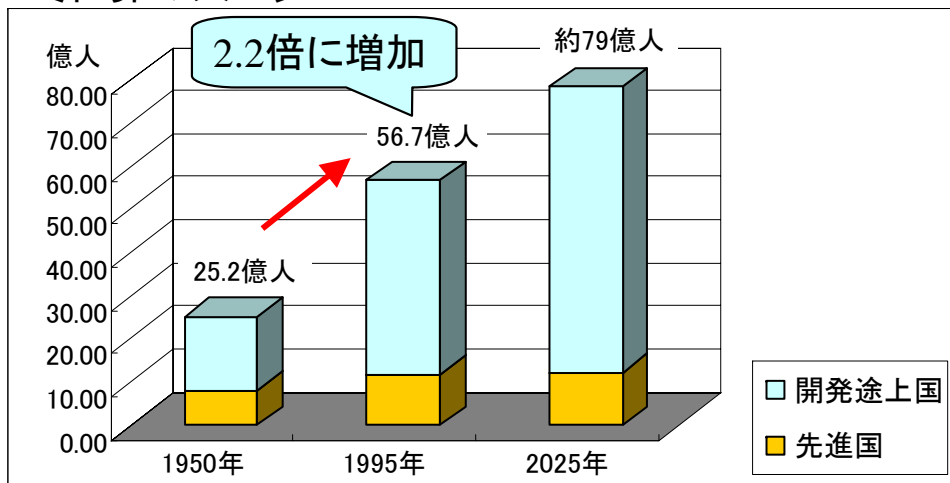


地球上に存在する水の量は約14億km³といわれている。そのうち、淡水は2.5%を占めているが、ほとんどが極地の氷雪であり、私たちが身近に利用できる河川や湖沼の水は、地球上の水のわずか0.01%で、地下水を含めても0.8%に過ぎない。

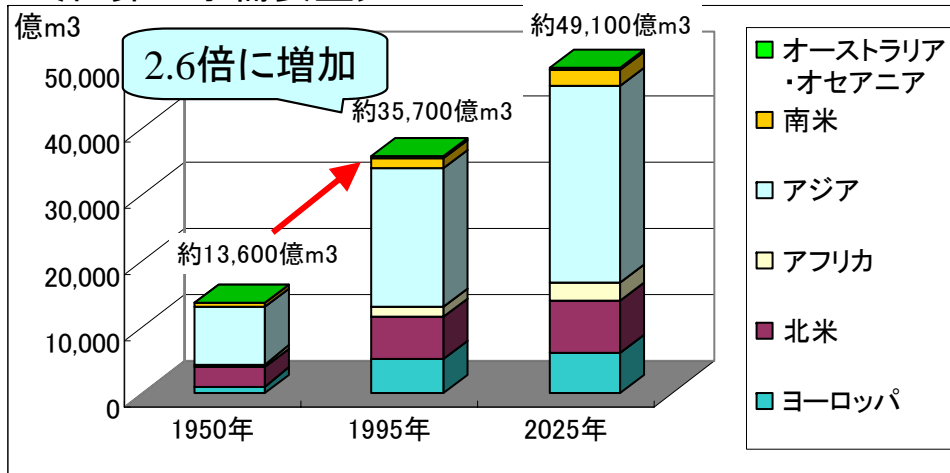


開発途上国の人口の急増、産業の発展

〔世界の人口〕



〔世界の水需要量〕



水質汚染

- 途上国における病気の80%の原因は汚水
- 水が原因で年間500~1000万人が死亡
- 淡水魚の20%の種が水の汚染で絶滅危機

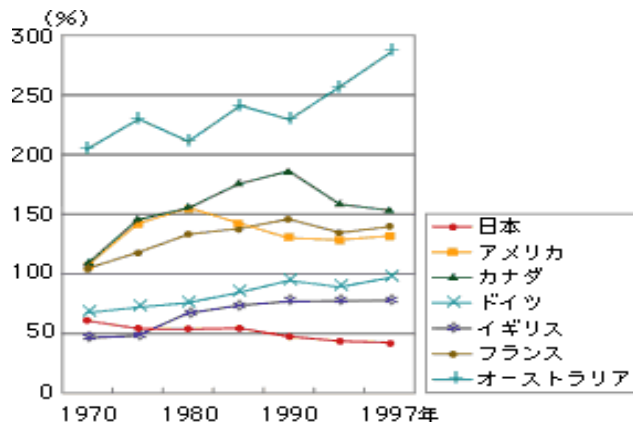
水不足

- 水不足の人口割合は、1995年には世界の約1/3であったものが、2025年には約2/3になると予測されている。

出典: 国土交通省「平成17年版日本の水資源」
 総務省「世界人口の推移」
 第3回世界水フォーラム事務局資料

日本は多くの食料を輸入

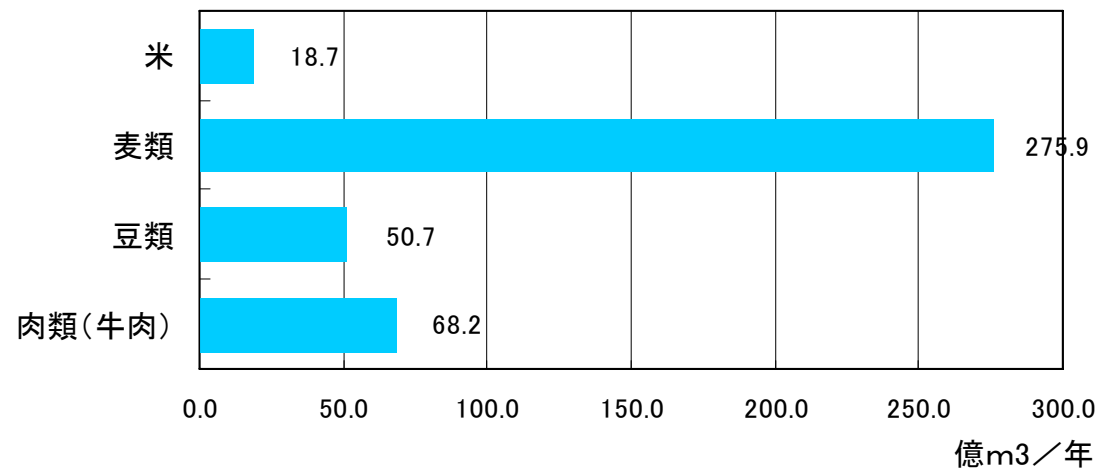
〔世界の食料自給率(供給熱量ベース)〕



間接的に多量の水を輸入

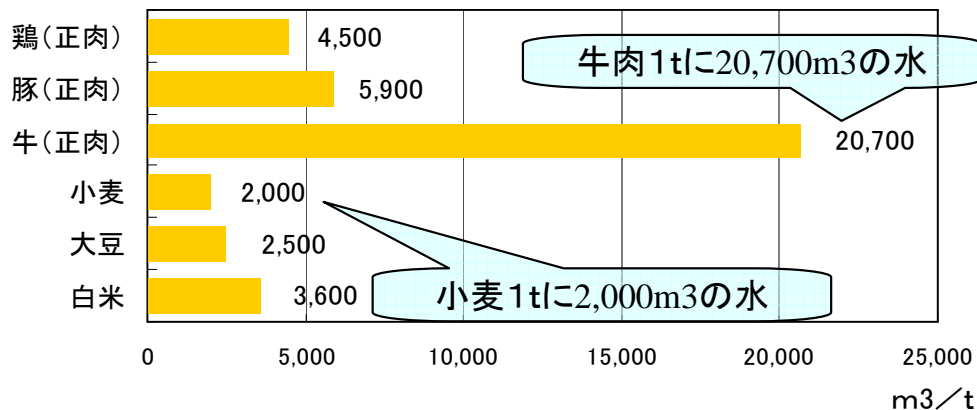
日本が輸入する主要な食料の生産に必要な水量は年間約400億m³に相当
(日本の農業用水の使用量は年間約600億m³)

〔主な輸入品の生産に必要な水量〕



食料の生産には多くの水が必要

〔農・畜産物 1 t の生産に必要な水の量〕



出典:「世界の水問題と日本」国土交通省HP、
「世界の水危機、日本の水問題(2003年修正版)」
東京大学生産技術研究所 沖大幹助教授